

(公財) コープともしびボランティア振興財団

2024 年度事業計画

＜ミッション＞ 全世代に「ひらく、つながる」協同のコミュニティづくり
＜方針＞

1. 地域づくりの一翼を担う中間組織として地域課題の解決に取り組む団体やネットワークを支援します
2. 地域に当財団の活動への共感者、支援者をさらに広げます
3. 財団の基盤の安定化を目指し資金調達と事務局機能の強化を図ります

1. 地域づくりの一翼を担う中間組織として課題の解決に取り組む団体やネットワークを支援します

(1) ボランティア活動助成

①募集および申請状況

募集に関する広報は、当財団ホームページ・コープこうべ組合員向け機関紙「きょうどう」などで行いました。また、社協や行政その他の中間支援組織にチラシを送付しました。申請状況は下記のとおりです。() 内数字はきりり助成数で内数

	申請 (グループ数 / 金額(円))	助成 (グループ数 / 金額(円))
福祉等	200/ (51) 29,470,700	171/ (51) 13,528,000
環境	19 / (4) 2,613,000	12 / (4) 1,254,000
合計	219 / (55) 30,296,000	183 / (55) 14,782,000

②2024 年度の申請状況

2024 年度は過去最高であった 2023 年度とほぼ同じ申請件数でした。
新規申請状況についてもコロナ前の申請数とほぼ同じ状況まで回復しています。

年度	申請						
	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
福祉	175 (35)	169 (51)	198 (72)	140 (53)	170 (52)	204 (55)	200 (51)
環境	26 (2)	24 (2)	19 (3)	20 (4)	16 (3)	20 (5)	19 (4)
合計	201 (37)	193 (53)	217 (75)	160 (57)	186 (55)	224 (60)	219 (55)

※ () 内はきりり助成数で内数

年度	上記のうち、新規申請件数						
	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
福祉	65	50	64	22	41	58	53
環境	5	6	3	6	3	5	5
合計	70	56	67	28	44	63	58

助成年度	平均申請額 福祉分野	平均申請額 環境分野	申請件数 全体	平均申請額 全体
2018	86,197	100,692	201	88,072
2019	78,751	104,875	193	82,000
2020	78,590	96,526	217	80,161
2021	80,471	124,350	160	85,956
2022	113,647	120,563	186	114,242
2023	146,725	141,850	224	146,290
2024	147,353	137,526	219	138,338

③2024 年度助成

1) 分野別助成一覧

分野	対象者	件数	助成額(円)	助成構成比(%)
福祉	高齢者	38	1,671,000	11.3
	障がい者	21	1,243,000	8.4
	青少年	1	150,000	1.0
	子ども(親子)	8	905,000	6.1
	地域住民	16	1,101,000	7.4
	施設・病院	1	15,000	0.1
	その他	7	715,000	4.8
	合計	92	5,800,000	39.7
まちづくり		11	1,476,000	10.0
防災・減災		4	434,000	2.9
人権		1	180,000	1.2
多文化共生・多世代交流		8	886,000	6.0
子ども育成		43	3,538,000	23.9
食と農		1	150,000	0.1
環境		16	1,254,000	8.5
その他		7	1,064,000	7.2
	総合計	183	14,782,000	100.0

※「環境」分野については、2004年度よりコープこうべの買い物袋代金からの寄付を活用し環境分野の助成検討委員会を設置し選考しています

2) 不採択案件 36 件 (前年度は 18 件)

主な不採択理由

- ・年に一度、開催されるイベントの費用中心の申請
- ・必要書類が揃っていない、活動計画の記載が少ない等書類上の不備
- ・記念誌発行等、助成の対象とならない経費中心の申請

- ◆ 資料 2-1 年度別助成一覧表
- ◆ 資料 2-2 ボランティア活動助成 助成団体地域別一覧

④ 助成決定後のサポート

1) 交流会の開催

5 月 11 日、助成団体が集う「市民活動交流会」を開催し、団体同士の情報交換や活動継続に向けての課題の共有化を行いました。

2) 相談や訪問の実施

運営や報告書の書き方などの相談に個別に対応します。助成団体を訪問し、助成団体のとらえている地域課題を共有したり、課題解決に向けて困りごとの相談に応じます。

3) ともしび通信や情報の提供

年 4 回発行の「ともしび通信」とともに他の助成金情報、研修会の案内など助成団体に役立つ情報を送付していきます。

(2) 社会的課題解決にチャレンジする団体への申請募集と選考

① やさしさにありがとう ひょうごプロジェクト

財団と志を同じくする企業・団体から寄付金をいただき「やさしさにありがとう ひょうごプロジェクト」では 2023 年度 10 団体 455 万円を助成しました。

2024 年度は 17 社からの寄付総額 210 万円、活動支援準備金(2021 年度コープこうべからの寄付)から 290 万円を合わせ 500 万円で助成をする予定です。

選考は、申請書による 1 次選考ののち 7 月 5 日に選考委員との対話形式による 2 次選考を行います。2 次選考終了後選考委員(財団の評議員・学識者・賛同企業)に助成団体を選出、決定していただきます。

また、この助成の趣旨や選考についてご理解の上で申請をいただくため説明会を開催します。このプロジェクトで助成する団体は法人格の有無を問わないものとし社会的課題解決にチャレンジする団体に門戸を広げます。

- 助成予算総額 500 万円 1 団体/上限 50 万円

(3) 高校生の心豊かな育ちとボランティア人材の育成支援

① 高校生がボランティア活動を通して心豊かに育ち、次代の地域の担い手になることを願い「高校生のボランティア顕彰」を実施

第4次中期計画でも若い世代のボランティア人材の養成を計画の柱の一つとして位置付けました。ひき続き「高校生のボランティア顕彰」を継続していきます。2022年度は14校、2023年度は19校を顕彰しました。2024年度もさらに多くの学校の申請をめざし募集します。

決定後には顕彰校の交流会を開催し、互いに認め合う場をつくります。

● 顕彰予算 60万円

② 若い世代と共に活動する団体を支援

高校生や大学生の継続的なボランティア活動を応援するためにボランティア活動助成の助成団体の中で学生メンバーを抱え共に活動する団体に交通費などを助成します。

③ 小・中学生のボランティア活動への支援に向けた調査・研究

少年層の頃からボランティア活動が身近なものであってほしいとの思いから小・中学生の活動を支援するための調査・研究を開始します。学校単位での活動が多いと想定されるため教育委員会や小・中学校へのヒアリングやアンケートなどを実施する予定です。

(4) 先駆的活動への助成についての研究

① 地域における仕事づくり、有償活動の開発を支援

地域が疲弊している中では、コミュニティビジネスやくらしづくりに関する活動と同時に地域経済が活性化することを考えていく必要があります。そのためボランティア的な市民活動の形態としての有償活動の開発や、それをコーディネートする団体の存在が不可欠となります。その団体を支援するための助成について研究します。

(5) 交流や学びの場の提供

① 連携して地域課題を解決するネットワークづくり

財団の持つ中間組織的機能を活かし、コープこうべの地区本部と地域内で活動するボランティア団体や地縁団体・社協・専門機関などとの交流や学習の場を支援します。コープこうべが事業所ごとに開催する「地域つながるミーティング」などに助成団体が参加するきっかけづくりをするとともに財団も参画します。互いに連携して地域の様々なくらしの課題解決に取り組む中でネットワークづくりを進め、誰もが安心して暮らせる地域づくりの一翼を担います。

② 協同を育む緩やかなプラットフォームづくり

多様な活動者・団体が自由に交流して学び合い、繋がり合う緩やかなプラットフォーム(場)をつくります。活動の担い手不足が予想される中、課題解決に向けて全世代で協同して取り組む新たなコミュニティがこのプラットフォームから生まれることを目指します。

(6) 2025年度「ボランティア活動助成」に向けて

①2025年度の「ボランティア活動助成」の考え方

2025年度も多くの団体から申請をいただくことが想定される一方で新しい活動団体に光を当て、育みたいとも考えています。継続申請は、財団の助成の特徴ではありますが、このような団体にも活動資金が回るよう自立の可能性がある団体には丁寧に自立を促します。

また、高校生や大学生がメンバーとして継続的に活動する団体には交通費を助成し若い世代のボランティア活動を支援します。

②2025年度の「ボランティア活動助成」説明会の実施と選考

2025年度「ボランティア活動助成」の申請に先立ち、2024年度と同じ11会場で説明会を行い、オンラインでも開催する予定です。さらにコープこうべの店舗・つどい場での開催を増やし、地域の活動団体にコープこうべを知っていただくきっかけとします。

また、例年どおり10月より申請の受付を開始し、12月下旬締切後3月の助成検討委員会で2025年度助成案を作成します。

2. 地域に当財団の活動への共感者、支援者をさらに広げます

(1) 当財団の活動を積極的に広報し、共感を広げる

①ともしび通信の発行

同媒体は、当財団の機関紙として3カ月ごとに約3,000部発行し、ホームページでも公開しています。送付先は、賛助会員・寄付者・助成団体の他コープこうべの店舗・中間支援組織・行政・社協・企業などですがコープこうべの店舗・中間支援組織・行政へは複数枚送付して地域の人々にも配布いただいています。

2024年度もさらに内容の充実を図り地域に財団の活動への共感を広げます。

(2) コープこうべの関連部署や組合員組織と連携し、広報活動を推進

①組合員の理解を促進

コープ委員会の学習会や店舗で開催される学習会「レインボースクール」に財団についてのテーマでエントリーし、地域での学習会開催に繋がります。また、財団の助成団体が講師となって開催する講座も設定し、市民活動やそれを助成する財団への理解を深めるきっかけづくりとします。

②ラジオでの広報

広報室と連携し、ひき続きラジオ「コープ・スコープ」の月1回の放送を活用します。財団からの情報提供だけでなく助成団体の活動を紹介する場とします。

3. 財団の基盤の安定化を目指し資金調達と事務局機能の強化を図ります

(1) 資金調達

①2024年度 賛助会費・寄付・募金の目標

		2024年度目標	2023年度実績
賛助会費	個人	700,000	701,000
	法人	1,200,000	1,190,000
賛助会費合計		1,900,000	1,891,000
寄付	個人	1,300,000	1,309,035
	お香典にかえて	200,000	300,000
	法人（やさしさ）	2,100,000	2,100,000
	まいくる	1,100,000	1,113,792
	つり銭チャリティー	500,000	542,866
寄付合計		5,200,000	5,365,693
募金	集中募金	7,000,000	6,912,468
	めーむポイント	2,100,000	1,826,500
	きしゃぼん	450,000	435,042
	切手・はがき	50,000	0
	その他	0	17,929
募金合計		9,600,000	9,191,939
総合計		16,700,000	16,448,632

②法人からの寄付および法人賛助会員の募集の強化

「やさしさにありがとう ひょうごプロジェクト」は、初年度賛同企業7社、寄付金額100万円からスタートしましたが、現在は17社から総額210万円の寄付を得ています。2024年度もコープ協力会加盟会社などに「やさしさにありがとう ひょうごプロジェクト」賛同企業とともに新規の法人賛助会員への呼びかけも行います。

③集中募金を6月と10月に実施

2024年度も6月と10月の年2回コープこうべの地域活動推進部が窓口になり募金の呼びかけを行っていただきます。宅配の「めーむ」に折り込まれるチラシで財団の活動を丁寧に広報しコープこうべの組合員・職員の財団への理解を深める良い機会として取り組みます。

④古本募金 「きしゃぼん」のさらなる拡大

2016年7月にスタートした「古本募金 きしゃぼん」は財団らしい取り組みとして定着し2023年度は約45万円の募金になりました。コープの店舗等20カ所に古本回収ボックスを設置しています。

2024年度もさらに寄付額の増加を目指して呼びかけを行います。

⑤未使用切手・書き損じハガキの回収

コープ委員向けに未使用切手・書き損じハガキの回収を定期的に呼びかけ使用可能な切手などに交換しています。2024年度も同様に回収の呼びかけを実施します。

⑥基本財産の運用

コールオプションが行使されない限り直近の約10年は満期償還される銘柄がないため当面は証券会社からの情報収集に努めます。

(2) 事務局機能の強化

①財団スタッフの人材育成

財団のスタッフとして、ボランティアコーディネータ力や多様な団体同士を繋ぐネットワークづくりのスキルの向上が求められています。内外の研修へ参加したり助成団体に寄り添いながら支援することで、その手法を学びます。

②財団スタッフを増員

2024年度も助成事業をより充実させることを目指して1～2名の採用を予定しています。